



国民春闘共闘

第19号

2016年3月28日

国民春闘共闘委員会

〒113-8462 東京都文京区湯島2-4-4 全労連会館
☎ 03-5842-5621 FAX 03-5842-5622

2016春闘・第2回賃上げ集計

単純 5,208 円 加重 5,214 円

国民春闘共闘委員会（全労連、純中立労組懇、地方共闘などで構成）は24日、2016年春闘における第2回目の賃金改定集計を行い、17単産・部会から報告が寄せられました。

<回答状況>

	2016年	2015年（同期）
登録組合数	828	838
回答組合数	266 (32.1%)	219 (26.1%)
うち金額・率回答	212	174
うち「定昇のみ」など言葉による回答	54	45
うち上積み獲得	22 (8.3%)	24 (11%)
うち妥結組合数	28 (10.5%)	21 (9.6%)

<回答内容>

集計方法&対象		2016年	2015年（同期）	（前年同期比）
単純平均	額（円）	5,208	5,702	-494
	率（%）	1.91	2.01	-0.10
加重平均	額（円）	5,214	5,679	-465
	率（%）	1.88	1.88	±0
	組合員数（人）	39,585	38,485	

<前年実績との比較が可能な組合における回答状況（金額での比較）>

前年比較可能な組合数	うち前年実績以上	（前年超）	（同 額）
187	70 (37.4%)	45	25

<前年実績との比較が可能な組合における金額・率の比較>

		組合数	金額・率	前年実績	（前年比）
単純平均	額（円）	187	5,576	6,062	-486
	率（%）	122	1.92	2.09	-0.17

※額または率のみの報告があるため、双方は連動しません。

※「定昇のみ」など言葉による回答は計算から除いています。

<集計結果の概要>

回答引出し・妥結状況

第2回集計には17単産・部会から報告が寄せられています。集中回答日から1週間経ち、これまでに回答を引き出したのは登録828組合のうち32.1%にあたる266組合となっています。

第1回集計（3月17日現在：216組合・26.1%）から50組合・6割増え、前年同期（2015年3月18日現在：219組合・2.61%）との比較では6割上回っています。

回答を引き出した組合のうち妥結もしくは妥結方向の報告が寄せられたのは28組合で、妥結率は10.5%となっています。安易に妥結せず、上積みを求めて粘り強いたたかいを進めていることが伺える状況となっています。

全体の回答内容

有額回答を引き出した212組合での単純平均（一組合あたりの平均）は5,208円・1.91%で、加重平均（組合員一人あたりの平均）は5,214円・1.88%となっています。

前回調査から単純平均で97円減・-0.03割、加重平均で410円減・-0.01割となり、前年同期との比較では、単純平均494円減・-0.1割、加重平均465円減・±0割と微減しています。

そうした中、3月17日の全国統一行動日を中心に多くの組合がストライキ配置を含む統一闘争で引き上げを迫り、22組合が上積み回答を引き出しています。地方マスコミ（3組合）、JMITU（2組合）の計5組合では3次回答まで上積みを重ねています。

また、出版労連（6組合）、JMITU（2組合）建設関連労連（1組合）の9組合が1万円以上、9組合が9,000円台の回答を引き出しています。回答率ではJMITUでの4.03%を筆頭に前年同期58組合を上回る66組合が2%以上の回答を勝ち取っています。

単純平均の前年同期比を単産・部会別にみると、全農協労連、化学一般労連、合同繊維労組などがプラスとなっています。一方で、マスコミ関係業でマイナス傾向となっています。

前年実績比較可能組合での回答状況

同一組合での前年実績比較が可能な187組合での単純平均額をみると今期は5,576円で前年実績を486円下回っています。率では122組合の単純平均で1.92%と前年実績-0.17割となっています。金額比較可能な187組合のうち、前年実績額以上を勝ち取ったのは70組合・37.7%で、前年同期（164組合中76組合・46.3%）を下回っています。出版労連の組合で前年実績比3,500円超の回答を引き出したのをはじめ、45組合が前年実績額を超える回答となっています。

単産・部会別にみると、合同繊維労組、生協労連、出版労連で前年実績比微増となっています。また、規模別にみると、小規模組合になるほど厳しい回答状況となっています。

大企業経営者が短期的な利益の最大化に固執してベア抑制姿勢を強め、大企業労組も経済の先行き不安を口実に賃上げ要求を引下げ、春闘相場を押し下げている中、各組合が粘り強いたたかいを進め、国民春闘共闘全体では昨年と比べ微減で踏みとどまっています。今後の奮闘次第で追い上げは十分可能な状況です。3月29日から31日の「交渉集中ゾーン」にすべての組合が交渉を配置し、回答の上積み・引き出しを迫り、粘り強く交渉を進めていきましょう。

非正規雇用で働く仲間の賃上げ状況

パートやアルバイト、再雇用など非正規雇用で働く仲間の賃上げは、建交労、JMITU、化学一般労連、生協労連、全印総連、民放労連、日本医労連の7単産・118組合から181件の成果獲得の報告が寄せられています。前年同期（2015年3月18日現在：5単産・80組合・142件）を38組合・39件上回っています。

パートやアルバイトなど（再雇用・継続雇用で働く仲間を除く）で働く仲間の賃金引き上げ獲得は時間額132件、日額2件、月額37件で、時間額での引き上げ額報告のあった79件の単純平均額は14.5円、日額は2件平均60円、月額は28件平均6,781円となっています。

生協労連では、月額平均7,134円となっており、多くの組合で正規雇用労働者の賃上げを超える回答を引き出しています。これは、この間のたたかいで非正規雇用労働者の無期雇用化を勝ち取り、今春闘で一般正規職員よりも低水準の賃金に置かれていた、いわゆる「地域限定職員」などの賃金改善を実現させた成果です。栃木で月額54,800円、大阪、群馬で月額10,000円の賃金引上げを獲得するなどの報告が寄せられています。

また、JMITUで時間額140円の賃金引上げを勝ち取り、民放労連では、昨年引き続き派遣社員の賃上げにつなげるための派遣料改定を実現しています。

再雇用・継続雇用で働く仲間の賃金改善は時間額10件、月額1件を獲得しています。時間額での引上額は8件平均13.3円、月額は1件で1,000円となっています。

企業内最低賃金改訂状況

企業内最低賃金協約の締結・改定状況は別表の7単産45組合から報告が寄せられています。時間額での獲得件数は28件、日額では14件、月額では31件となっています。

時間額で改訂後の金額揭示のあった23組合での平均額は1,009円で、日額は8件平均7,350円、月額は14件平均167,603円となっています。

その他、日本医労連（看護師、ヘルパー）、建交労（大型運転手）で職種別の最低賃金協定を勝ち取っています。

出版労連では、今春闘での賃金闘争において、最低賃金引上げをとりわけ重視し、企業内最低賃金要求額を時給1,300円以上から1,500円以上に引き上げたたたかいを進めています。すでに昨年実績3組合を越す7組合で前進回答を引き出し、時間額300円引き上げなどの報告も寄せられています。

また、化学一般労連でも要求額を時間額20円、日額140円、月額3,000円引き上げ、現時点で10件の成果を獲得しています。

賃金底上げ、格差是正のたたかいが前進しています。この流れをさらに太くするために、よりいっそう取り組みを強化していきましょう。

STOP暴走政治、戦争法廃止！ 壊すな憲法
暮らしをもる共同で、賃上げと雇用の安定、地域活性化

<参考> 他団体の賃上げ集計結果

●連合の第2回回答集計（平均賃金方式・3月25日公表）は以下のとおりです。

集計対象	集計組合		加重平均			
	組合数	人数(万)	金額	率	昨年	率
全組合	1,183	166.8	6,335	2.10	7,136	2.36
中小共闘	614	6.5	5,195	2.07	5,587	2.19

※中小共闘は、規模300人未満

※単純集計（一組合あたりでの平均）での公表なし